

里山整備利用地域の紹介

里山整備利用地域名：糠地地区（小諸市）

認定日：平成 30 年 12 月 11 日

面積：65ha

活動主体の名称：糠地地区里山整備利用推進協議会

活動主体の構成：糠地区、糠地生産森林組合、糠地炭焼愛好会、糠地そば組合、糠地郷チヨウの里山プロジェクト、糠地公民館、佐久森林組合

【取組(活動)状況】

来年度に森林整備を実施し、H32以降に整備した森林内で活動予定



打合せ会議 (10/4)



初協議会 (11/13)



現地調査 (10/31)



現地調査 (10/31)

【今後の活動予定】

- ・ 荒廃森林をH31に復旧(森林整備)し、アカマツ-広葉樹の林床を利用した山菜の栽培を行い、都市住民との交流を図る。(森林の里親活動の拡充)
- ・ 糠地生産森林組合の所有林等で、「蝶の舞う里山」を目指した森林整備を実施し、整備後の森林を活用してオオムラサキの観察会などを予定。

里山整備利用地域名：霊泉寺温泉（上田市）

認定日：平成 30 年 10 月 25 日 面積：490 ha

活動主体の名称：霊泉寺温泉自然 JUKU プロジェクト
活動主体の構成：霊泉寺温泉旅館経営者、住民有志等

【活動状況】

①霊泉寺温泉クリーンフェスタ（毎年7月に開催）

- (1)里山の麓である温泉地全域の清掃活動
- (2)地元森林組合と連携した治山事業等の紹介
 - ・伐倒作業の実演
 - ・間伐材を利用した木工ワークショップ

(3)地元民間林産業者と連携した遊休林活用ワークショップ

- ・伐採器具に触れながらの木登り体験
- ・ツリークライミング・ツリーテント体験

(4)遊休林を活用したマウンテンバイクコースの試行

- ・イベント日限定で遊休林内にコースを設営し試走
- ②霊泉寺温泉MAD&MUDDY（平成29年～現在2年目）

(1)里山のありのままの姿を活用した障害物レースの開催

- ・レース用の里山内の調査（危険箇所などのチェック）
- ・レース用に里山内を一部整備（不要枝等の伐採）

③熊沢峠里山トレッキングコース構想

(1)霊泉寺温泉地域と武石地域を結ぶ熊沢峠を起点としたトレッキングコース整備に向けた取組

- ・利用者が減り荒れた熊沢峠を調査
- ・地域の交通として利用されなくなった峠道の活用による温泉地振興の模索
- ・峠横断では味わえない里山縦走コースの現地調査

④里山の利活用に向けた「馬搬」研修会の共催



【今後の活動予定】

1.遊休林の状況調査

所有者を巻き込んだ手入れの必要性の啓発活動（行政、森林組合と連携が必須）

2.間伐材活用プログラム

- ・間伐材を加工した公共サイン、入水堤防の為の階段
- ・木工ワークショップの開催（クリーンフェスタ）

3.地元住民でも行える里山手入れワークショップ

- ・地元住民、山林所有者が自ら行える簡易的な手入れを学ぶ

普及啓発活動

下記のイベントを中心に里山の大切さ整備の必要性の普及啓発を図る

- ①霊泉寺温泉クリーンフェスタ
- ②霊泉寺温泉MAD&MUDDY
- ③熊沢峠里山トレッキングコースの整備

里山整備利用地域名：茅野市永明寺山里山整備利用地域（茅野市）

認定日：平成21年11月20日

面積：124 ha

活動主体の名称：永明寺山ふれあいの森を創る会

活動主体の構成：地域住民等

【活動状況】

永明寺山は、JR 茅野駅や市街地からも比較的近いので、生活に密接な関連を持つ「里山整備利用地域」を設定し、地域住民や団体の協力のもとに「里山整備利用推進協議会」を立ち上げ、里山を積極的に利活用する活動を展開しています。例えば、森林を身近に感じ愛着を深めるソフト事業、そのために必要と思われる施設の整備事業などに県民税を活用しています。

○里山整備利用地域活動推進事業（ソフト事業）

地域の身近な里山である永明寺山を舞台に、小学生による自然観察・体験会、中学生を対象にした森林整備体験などを開催し、森林への愛着と関心を高める活動を重ねています。



<永明寺山でのウォークラリー>



<小学生による外来種の駆除作業>



<下草刈りの注意点に聞き入る中学生>



<大人数での下草刈りはらちが開く>

○里山資源利活用推進事業（ハード事業）

森林体験や学習をしやすくし、また地域住民の皆さんにも里山に親しんでもらうためにカタクリ園地に続く歩道や必要設備を住民協働で整備します。



<遊歩道は関係者が参加して住民協働で整備>



<カタクリ園地を結ぶ遊歩道>



<咲き誇るカタクリの花>

○みんなで支える里山整備事業（緊急伐採）

地域における森林との関わりが薄れてきたことにより、住宅団地脇に放置された森林が住民の安全・安心を脅かすようになってきたことから、不良木の伐倒により住環境の改善と安全性の確保を行います。



<森林に隣接する住宅団地>



<住宅に覆いかぶさる樹木>

里山整備利用地域名：伊那市西箕輪

認定日： 平成 30 年 7 月 23 日 面積： 1,217 ha

活動主体の名称：西箕輪薪の会

活動主体の構成：地域住民

【活動状況】

伊那市西箕輪では、地区全域が里山整備利用地域に認定を受けており、公民館のストーブに薪を供給しようと発足した「西箕輪薪の会」が主体となって活動している。

「地域林業のリーダー」として活躍している林業士が同会の副会長を務め、間伐などの専門性の高い仕事を受け持っている。

定期的に行われている会の活動は、搬出されずに森林内に残った丸太を薪の長さに玉切りして軽トラで運び出し、薪割りして公民館の薪置場に積み上げるという作業が中心となっている。

会員相互がコミュニケーションを図る場としても機能しており、楽しみながら会が運営されている。



【今後の活動予定】

地域内における森林整備の理解が深まり、活動がさらに広がるよう、会の活動を通じて森林整備の必要性を PR していく計画。

また、推進組織は「西箕輪薪の会」が担いつつ、地域の森林を整備あるいは利用するという主体は広く様々な団体等に及ぶことを想定しており、連携できる体制を構築していく予定。

里山整備利用地域名：南箕輪村大泉所山

認定日：平成30年7月23日 面積：282 ha

活動主体の名称：大泉所山整備利用推進協議会

活動主体の構成：経ヶ岳友の会、(株)サンティア、森のライフスタイル研究所

【活動状況】

森の里親事業の里親である、(株)サンティアの若手社員を中心に、経ヶ岳友の会と共に経ヶ岳登山道沿いの村有林整備を行っている。

枝打ち、除伐作業により、多くの人々に親しまれている経ヶ岳登山道沿いが見違えるほど明るくなり、作業による達成感を得ている。

また、念願の看板を設置することもでき、里子である村有林に、一層の愛着を持つことができた。

この他、経ヶ岳友の会による山野草の保全活動や登山道整備といった活動が行われている。



【今後の活動予定】

引き続き、登山道周辺の山林整備、登山道整備、山野草保全活動に取り組んでいく予定。

里山整備利用地域名：中川村竹ノ上

認定日：平成30年8月20日 面積：14ha

活動主体の名称：竹ノ上里山整備利用推進協議会

活動主体の構成：竹ノ上地区住民、地区営農組合、地区PTA

【活動状況】

竹ノ上地区に繁茂し、景観の悪化や獣害拡大の要因となっている竹林を、地区住民自ら整備し、利用する活動を行っている。

竹林は荒廃し、立ち入るのも困難なほどだが、地域で少しずつでも整備が進んでいる。

また、チップパーを購入したことで、作業の効率化も進んでいる。

この作業により、景観もよくなり、見通しも改善され、地区では、今後の活動への期待が膨らんでいる。



【今後の活動予定】

荒廃竹林の整備を進めながら、竹の利用を考えていく予定。
また、獣害を防ぐための講習会の開催も計画中。

里山整備利用地域名：中川村桑原

認定日：平成30年9月5日 面積：1,143 ha

活動主体の名称：桑原里山整備推進協議会

活動主体の構成：地区住民、ブッポウソウの里の会

【活動状況】

地区住民で、地区の山を自ら整備していく活動を行っている。

主な活動は、地区内の主要道路沿いの支障木の伐採、日影解消のための除間伐作業で、高所作業車をリースするなどして、おてんま作業により行っている。

伐採した枝条等は、購入したチップパーでチップ化し、資源の循環利用を図っている。

また、地区内に多く生息するブッポウソウの保護活動にも取り組むため、巣箱の制作や設置も行う予定。

高齢化が進む中であっても、地区を盛り上げるために一丸となって活動に取り組んでいる。



※過去に実施したブッポウソウの保護活動の様子

【今後の活動予定】

今年度は、チップ化の作業を引き続き行うほか、巣箱づくりを行う予定。
支障木伐採や森林整備作業を継続して行いつつ、巣箱掛作業も進めていく計画。

里山整備利用地域名：飯島町町民の森傘山（からかさやま）

認定日：平成30年8月21日 面積：25ha

活動主体の名称：町民の森整備利用推進協議会

活動主体の構成：町営業部自然部会、山を楽しむ会、南駒里山クラブ等

【活動状況】

傘山登山口に広がる町民の森を、町民憩いの場とするように、年間を通じて活動を行っている。

活動は、町民の森を自由に散策できるように遊歩道整備を中心に、下刈りや東屋の修繕等を行いました。また、活動は都会からの企業研修等の場にもなり、多くの人の手により整備が着々と進んでいる。

また、遊歩道の資材や敷設するチップの原料となる木材は、現場の間伐材を使うことで、資源の有効活用も進んでいる。



【今後の活動予定】

間伐材のチップ化を年内に終え、来年度以降遊歩道へ敷設する予定。
遊歩道整備も引き続き行い、町民の森整備を進める計画。

里山整備利用地域名：伊那市長谷溝口

認定日：平成30年9月28日 面積：806 ha

活動主体の名称：溝口里山整備利用推進協議会

活動主体の構成：溝口区、生産森林組合、薪の会、溝口里山創り隊、トラクター等

【活動状況】

地区内の森林・竹林を整備するために、森林に関わる住民を中心に協議会が設置され、主に地区内の景観整備のために支障木伐採を行いながら、今後の里山整備の方針を探るための現地調査を進めている。

溝口区には、森林に関わる活動を行う団体が複数存在していたことから、今回の協議会の設立により、互いの情報交換の場となっている。



※平成30年度の景観整備の状況



※溝口里山創り隊が過去に行った作業の様子

【今後の活動予定】

主要道路沿いの支障木伐採を引き続き行っていくほか、協議会として里山の整備計画を立てていく予定。

また、所属する団体間で連携を図りながら、多様な活動を展開していく。

里山整備利用地域名：東筑摩郡生坂村 日岐区・下生野区

認定日：平成30年9月21日 面積：33ha

活動主体の名称：未来に残す里山整備利用推進協議会
活動主体の構成：未来に残す里山整備利用推進協議会構成員

【活動状況】

下生野区地区竹林整備

(作業前状況)

- ・真竹の雪による折竹及び枯竹の除去作業
- ・状況としては、竹上層部で雪の重みによって折れ曲がり重なりあって竹の伐採もできない状況と、長年管理されずに枯竹、除去できない状況となっている。
- ・作業の方法としては、枯竹を除去し空いたスペースに、不要な真竹を伐採して集積する。



(着手前)

【作業中の状況】

- ・枯竹と折竹を一部除去が進んだ結果状況上層部が折れて竹が割れていて、非常に伐採が大変な状況になっている。



(作業中)

【今後の活動予定】

日岐区

●歩道整備事業

- ・歩道整備の状況確認と、歩道の目安となるテープのマーキング作業
- ・竹、支障木の除去作業
- ・薪利用できる雑木の一部搬出
- ・薪割り機の安全作業研修の開催

下生野区

●竹林整備

- ・チップパーの安全作業研修の開催
- ・竹林伐採作業と、チップパーによるチップの生産
- ・竹林整備の状況 PR 活動(竹チップの利活用等)

里山整備利用地域名：七二会地区（長野市）

認定日：平成30年10月25日 面積：24ha

活動主体の名称：NPO 法人信州フォレストワーク

活動主体の構成：地域住民、団体の活動に賛同する者等 50名

【活動状況】

当会は、長野市七二会地籍の県道401号線沿いに点在する集落の里山において、地域住民と合意形成を図り、住民と連携した活動により手放されてきた荒廃森林の整備を進めている。

住民と境界確認・立会を行い、森林資源循環による里山の荒廃森林の整備を地域に説明し、地域住民が自ら里山整備に関心を深めてもらうことを推進している。

間伐材や未利用材を用材、薪、チップ等に生産し、貴重な森林資源の有効活用につなげている。



【今後の活動予定】

地区内における森林所有者との協定の締結を進め、現地の調査の終えたところから随時、間伐作業を広げていく予定である。その整備からでる間伐材や未利用材を用材、薪、チップ等に加工し地域で活用すると共に販売に至るまでのプロセスを構築する。

安全技術研修会を開催し、地域住民に森林整備への参加を促していく。（1～3月）

里山整備利用地域名：離山地区（須坂市）

認定日：平成30年9月28日 面積：3ha

活動主体の名称：離れ山を守る会

活動主体の構成：地域住民、地域団体23名

【活動状況】

「離山」は須坂市豊丘地域内に孤島のように存在する森林で、頂上には不動尊社殿が祀られ古くから地域に親しまれてきたシンボリックな里山である。地域が少子高齢化により、近年手入れがゆきととらず台風被害や松くい虫被害など枯損木が放置され、過密化した林分などもあり荒廃が進んでいる。

当会では、荒廃森林を自然観察園として整備を行い、近くの豊丘小学校や豊丘保育園（信州やま保育園に認定）の活動フィールドとして離山を整備活用し、市の木であるレンゲツツジやドングリ、桜の植栽を行うなど、安全・情操教育的環境整備を行い、自然観察会を開催している。



【今後の活動予定】

子供たちが安全に通うことができるよう手すりの設置と遊歩道の整備を行う。（1～3月）
新たに導入した薪割機で、伐採した広葉樹を薪として生産し地域材の有効活用を地域にPRしていく。（1～3月）

パノラマパネルや説明パネルを設置する。（3月）

域外への認知度を高めるため、ホームページで整備した離山の四季の情景を随時アップし、整備した離れ山の魅力を世間一般に伝えていく。また、自然観察会を開催する。（1～3月）